

# 天然アユを名田庄に！

## － 榎谷川魚道群から考える －

建設コンサルタンツ協会

CPD


南川は、『釣り人が選んだ天然アユののぼる 100 名川』として全国的に知られています。


その一方で、数多くの河川工作物(落差工等)により、河口から源流域までの連続性が確保されておらず、天然アユの遡上は困難な状況にあります。


しかしながら、これまでも榎谷川をはじめとする河川では、遡上回復に向けて落差工が改修され、魚道が整備されています。その結果、魚類の上下流への移動の回復が確認されるようになってきました。

この勉強会では、榎谷川を含めた南川全体に生き物のあふれる昔の姿に戻すため、まず、榎谷川の現状について学びます。

里川を地域の財産としてとらえ、天然アユを南川上流域である名田庄にまで遡上させるためにも、住民、技術者、研究者が力を合わせる第一歩を踏み出しましょう。

 日時：平成 27 年 10 月 18 日 (日)  
13:30～16:30

 会場：おおい町里山文化交流センター  
南川支流 榎谷川

 参加費：無料

 定員：40名

 日程：

13:00～ 受付

13:30～13:40 趣旨説明

13:40～14:00 現地見学場所の説明

14:00～15:10 現地見学・・・榎谷川魚道群

15:10～15:30 榎谷川魚道群の設置について

15:30～16:00 魚道の設置効果について

16:00～16:20 榎谷川の自然再生について

16:20～16:30 閉会挨拶

福井工業高等専門学校准教授 田安正茂

福井県立大学准教授 田原大輔

福井県建設技術研究センター主任研究員 流 守博

福井県小浜土木事務所 多田茂生

福井県立大学准教授 田原大輔

里山ねっこ代表 萩原茂男

若狭河川漁業協同組合増殖委員長 小松輝治

福井工業高等専門学校名誉教授 廣部英一

